

第74の山登頂記

やちょうの会の皆さんと伊藤先輩へ（高野さんと八木さんへは、別途、郵送；コピー機不具合のため数日遅れ予定）（※）は、参考写真添付。

関東地区の方々は、東部大地震の影響で、いくらか不自由な生活をお過ごしのことと思います。改めてお見舞い申し上げます。

日本全国、やっと春らしい陽気になって来て、皆さん方お元気にお過ごしのことと推察いたします。当方、不本意ながら数年前より花粉症グループに強制加入させられ弱っておりますが、今のところ運良く軽度で、深刻な事態は免れ、鼻水程度で収まっております。どうも杉花粉症クラスのように、メインがヒノキに変わって来たせいか、この頃は、症状はごくごく軽いものになって来て楽になりました。

ところで、昨日（4月10日）は、登山と言うよりは、食事会と言った方が良いかも知れませんが、地元山の会で昨年に引き続き、同じ場所同じ趣向で「豚汁登山」が計画され参加しました。向かうは、山口市北部の東鳳翽山（標高743M）です。登山口は、この山の標高と最も近い地蔵峠です。

昨年もそうでしたが、豚汁登山の場合、現地での手間および時間節約のため、その前日に、現地では殆ど暖めるだけの下料理を行って行きます。総勢10人ばかりが集まり、買い出しと公民館の調理場で調理、更に、出来た料理の試食会（お毒味会）を行ったのです。お毒味会のメニューには、本命の「豚汁」は当然ですが、喉を潤す「ビール」、昼時でもあるので、これも調理メニューの「いなり寿司とおにぎり」、更には「コーヒー」とちょっとした「お菓子」まで登場しました。この時点ですでに、全員メタボ方向に偏って行ったのです。



登山当日（昨日）は、公民館9時集合。10人（うち4人は、花粉症対策マスク着用）が2台の車に分乗し出発。途中、秋吉台付近を横目に通過し、道の駅「みとう」でトイレ休憩。道の駅「みとう」でもそうでしたが、それに至る川沿い、道脇や個人のお宅には、今や満開の桜々、更にれんぎょう、木蓮、こぶしやら、色んな花が晴天の日差しを浴びて、「今こそ春！！」と言っているが如く輝いていました。

沿道の花見を楽しんで、10時15分頃には登山口の地蔵峠に到着。高度計の針は、ここで既に

3つのコンロで半完成の豚汁を温めながら、私の差入れのしょうゆ豆他、煮物、漬物、寒天ゼリーなどで、まずはビールで乾杯。追っかけて出来上がったメインディッシュは、どんぶり2杯も頂いて超満腹。またもやメタボ傾向に陥る。食後は、木陰で昼寝をする人、コーヒーを楽しみながら談笑したりする人、しばしゆっくり。結局、ランチタイムは約1時間、13時40分頃下山開始。登山口に14時半過ぎ到着。

帰りは、再び道の駅「みとう」で休憩し、16時頃公民館に着いたのです。

登山と言うより、桜を中心の春の花々を愛で、豪華ランチでメタボに陥った一日でした。ランチ会場から頂上間は歩数計も置き去りではありましたが、今回歩数は5489歩とやや少なめでした。

山口／古賀